添付資料

ナノエッグ　基本情報

【株式会社ナノエッグとは】

株式会社ナノエッグ（代表取締役社長　大竹秀彦、所在地　神奈川県川崎市、http://www.nanoegg.co.jp/）は 2006 年 4 月、大学の研究成果を実用化することを目的に、聖マリアンナ医科大学発ベンチャーとして創業。

同大難病治療研究センターとの共同研究体制のもとで、医学･薬学・物理学の融合により、ナノカプセル化技術「ナノエッグ®」とジェル状外用基剤「ナノキューブ®」を使った新規経皮伝達システムの開発に成功。

企業理念は“「真の健康と美しさ」を目指すサイエンス創造“、ビジョンは“ライフサイエンス分野における科学的根拠と冒険的発想に基づくテクノロジーの創出と育成”。

創業者の一人で取締役・研究開発部長の山口葉子（理学博士、専門は物理学）をはじめ多くの女性研究者が開発を担う。2009 年 9 月現在、従業員 22 名、うち女性は 13 名。

【「ナノエッグ®」とは】

化合物（薬効成分）をテンプレートにし、無機質でコーティングするカプセル化技術。ナノオーダーサイズの中に成分をほぼ 100%閉じ込めることができるため、成分の安定性や経皮透過性を高めることができる。創業のきっかけとなった技術であり、社名の由来でもある。

【「ナノキューブ®」とは】

株式会社ナノエッグが物理学の発想に基づき開発したジェル状外用基剤。「ナノキューブ®」を基剤として配合することにより、従来不可能だった高分子量の薬物や水溶性薬物の、高い効率での経皮吸収が可能となった。医薬品、医薬部外品、化粧品へ応用可能。

また、ジェル状外用基剤「ナノキューブ®」そのものには、皮膚の自己治癒力（ホメオスタシス）を引き出す特性がある。「ナノキューブ®」を肌に塗ると角層の細胞間脂質に作用し、液晶状の細胞間脂質の構造が瞬間的に変化し、すぐにもとの状態に戻る。この“構造が瞬間的に変化する刺激”で、眠っていた肌本来の力が目覚め、自己治癒力が高まる。

「ナノキューブ®」は株式会社ナノエッグの登録商標。

【「マリアンナ（MARIANNA）」とは】

株式会社ナノエッグが 2007 年 7 月から販売を開始したスキンケア化粧品シリーズ。名前は、ナノエッグの本拠地であり、また株主の一つでもある聖マリアンナ医科大学に由来する。

「マリアンナ」はナノエッグが開発したジェル状外用基剤「ナノキューブ®」を配合。「ナノキューブ®」がスキンホメオスタシス（肌の自己治癒力）を引き出すことで皮膚再生を誘導。シミ･しわの改善を促す。

「マリアンナ」は、有効成分を肌に与えることではなく、肌本来の自然治癒力に着目したところが新しい。

株式会社ナノエッグは、科学的な実証（エビデンス）に基づく化粧品の総称として「サイエンス･コスメ」を提唱。「マリアンナ」をこの「サイエンス･コスメ」と位置付ける。

【スキンホメオスタシスとは】

ホメオスタシスは二つのギリシャ語、ホメオ＝同一、スタシス＝平衡状態・持続、が語源で、平衡維持力、恒常性と訳される。生物が体内環境を一定範囲に保つ働きのこと。

スキンホメオスタシスとは、肌が本来持っている、肌を元の状態に戻そうとする自己治癒力をさす。